

KEEP ON T, R, Y

社長の今月お伝えしたいこと

VOL59

2022年8月

タカラスタンダードのお風呂が8月より、新シリーズとして生まれ変わります。新しい「グランスパ」シリーズは、主カクラスの「レラージュ」と、お値打ちクラスの「ミーナ」を統合したシリーズとなります。これにより中間クラスの「エメロード」シリーズは、業界唯一の既設浴室サイズに合わせられる「ぴったり」シリーズのみの展開となるそうです。もちろんタカラ最高峰である鋳物ホーロー浴槽を使用した「ブレデンシア」シリーズはそのまま残ります。

各メーカーが新商品を発表する際は必ず発表会に足を運び、現物を確認しています。お客様へのご提案を、メーカー任せにすることはできません。各メーカー担当者はそれぞれ自社の強みを知り尽くしています。しかし、自社の説明には長けていますが、意外に他社の研究はしていません。日経に、今後LIXILはお客様へのプランニングをAIで提案していく記事がありました。たしかに昨今、住宅設備メーカーは、インターネットでのプラン提出が増えています。しかし、それが営業マンの知識を著しく低下させ、こちらの質問にも答えきれていないのが現状です。よくメーカーから、「ヤマダさんぐらいですよ。自社で商品を説明しているのは」といわれます。お聞きすると、他社は営業マンが説明できないため、メーカーを同行させるそうです。私からいえば純粋に「Why?なぜ?」の世界なんです(笑)。

現代はネット社会です。ほしい情報はすぐに手に入れることができます。それゆえ情報過多になり、お客様が判断できなくなっているのが現状だと思います。お客様からの問い合わせは「結局、どのメーカーが一番いいの?」が一番多いんですね。

どのメーカーが一番いいのか。その答えを一番知っているのはお客様自身です。なぜ取り替えるのか、どこが使いづらかったのか、そして、新しくしたらどんな生活がしたいのか。それを決めるのは私たちではありません。私たちにできることは、現状を見極め、類似する機能商品の中から、その答えに合うものをアドバイスさせていただくこと。それすらメーカーやAIに任せるのなら、私たちは必要ありません。(笑)

だから、単純にカタログとおりに答えるのではなく、さまざまな角度から、機能を見極め、自分の言葉でご提案する。あえていうなら、それが弊社の強みかもしれません。それぐらいの自信がなければ、このお仕事、やっちゃだめですよ。(笑)

足し算と掛け算

冒頭のお話の続きになりますが、私がプランニングやご提案をする際には、この公式を大切にしています。
なにが足し算で、なにが掛け算なのか。

まず足し算。

お客様のご相談内容に対し、1つの商品だけでは補いきれないことがあります。

例をあげるなら、防犯対策ですね。

泥棒に入らせない。これは最終的な結論です。

では防犯ガラスだけで侵入盗を防ぐことができるのか。

そのためには例えばカメラドアホン、例えば防犯砂利、

プラスすることによる相乗効果で実現できることがあります。

では掛け算はなんでしょう。

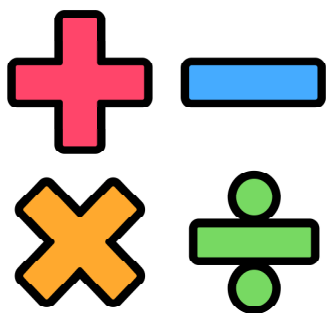
例えば健康があげられますね。

以前にもお話しましたが、健康＝断熱×照明×睡眠。

これはどれか1つが欠けても0になってしまう。

だからトータルバランスで考えなければならないことです。

そのために、商品の機能が及ぼす人体への影響も頭に入れたうえで、商品を見極め、プランを組んでいきます。
意外と考えているでしょ？(笑)



健康のための照明プラン

私ゴトですが、照明コンサルタントとライティングコーディネーターの資格を持っています。

お部屋のプランニングをする際、意外とこの照明プランを軽視する傾向がありますが、照明プランは大切です。

現在、ほとんどの室内照明はLEDになり、調光・調色ができるようになりました。

メーカーカタログを見ても、1日の中で照明の色を変える提案がなされていますが、そもそも何故必要なのでしょう？

これは睡眠学の見地からお話させていただきます。
健康に欠かせないのがサーガディアンリズムと呼ばれる太陽の周期に影響される体内時計です。

そして昨今、認知症防止対策に、このサーガディアンリズムが注目されています。

岐阜市にある高齢者施設においては、この太陽周期に近い照明色を取り入れた1日の照明計画が実施されています。
これは全て入居者の睡眠を変えるための取り組みです。
睡眠は認知症や、うつ病の防止に大きく影響するんですね。

ポイントは、朝～昼は青や白を基調とした照明色を、夕方～夜にかけては暖かい照明色をお奨めします。
照明プランを大切に、健康的な生活を送りましょう。



住宅資材の値上げについて

昨年来、住宅資材の価格高騰が止まりません。ウッドショックに始まり、原油高騰に伴う金属やガラス等の加工商品の値上がり、さらには半導体不足による一部商品の長期にわたる受注停止等、過去に例を見ない価格の上昇と、商品不足が続いています。「いつまで？」とメーカーサイドに確認するも明確な答えは返ってまいりません。

この秋にも既に一部の水周り商品や、窓商品、タイル商品などの値上げが発表されており、心ぐるしい限りです。弊社としても、国や地方の補助金事業等を活かしたご提案等を心がけていますが、今後はそれ以上に的確なプランと商品選択を行ってまいります。